



7天沼中 第278号

令和7年12月24日

杉並区立天沼中学校

自主・自律・共生



仲間

校長 池田 和幸

12月14日(日)都立和田堀公園陸上競技場(済美山運動場)にて、杉並区中学校駅伝大会2025が開催されました。ここ数年、雨に降られることがなく実施することができていましたが、今年度は本降りの雨に強い寒が入って、かなりの悪条件でした。そんな中でも天沼中学校駅伝部は、男女ともに11位と好成績を残し、特に区間毎の結果を見ると、3年生が出場した区間で、大きく順位を上げていました。3年生が中心となったチームであったことが結果からも感じられます。悪天候にもかかわらず、現地に多くの生徒が応援に駆けつけていました。応援に来ていたある3年生の生徒が「私も走れば良かった」と言っていたのですが、天沼中駅伝部として学年を超えて一致団結し、目標に向かって頑張っている姿に、他に代えられない価値を見出したからこそ出た言葉ではないでしょうか。

天沼中の駅伝部は各校と比べて速くはありませんが、今年も部員男女合わせて50人近く集まりました。多くの生徒で声を出して練習を頑張るという、雰囲気の良い学校にも負けません。伝え聞く他校の様子では、希望者が少なく選手選考が難しい、3年生は走らず1、2年生だけでチームを作らなければならないなど、この駅伝のために様々な苦労があるそうです。幸いに本校では、3年生がチームを引っ張り、1、2年生を含めた多くの部員から選手を選考できるという恵まれた状況にあります。それは、これまでの天中生が伝統として作ってきた部分が大きいと同時に、現役の天中生の同学年、他学年関係なく、良い関係が築けているからこそではないかと思えます。

この駅伝大会を通して、改めて「仲間」の良さを感じました。「仲間」という言葉は、由来には諸説あるそうなのですが、「同じ釜の飯を食う」から、「おな・かま」になり「なかま」になったという説や、江戸時代の商業者組織の株仲間のような言葉から使われるようになったという説があるそうです。どちらも、同じ目的をもって集まった人の集合体を示す言葉として「仲間」がという言葉が生まれたと考えられます。似たような言葉に「友達」というものがありますが、「友達」という関係は目的や目標に関係なく、気楽な感情的なつながりで使われることが多いことに対して、「仲間」という言葉には、目的や目標を同じにする関係を示すことが多く、互いに切磋琢磨するライバル関係なども「仲間」という言

葉を使うことがあります。そうすると本校の駅伝部の生徒たちは、「友達」という関係ではなく、「仲間」という関係でつながっていたと言えるでしょう。

決して「友達」という関係を否定するという意味ではありませんが、中学校という場における人間関係の土台は、「仲間」ではないかと思います。生徒同士はもちろん、生徒と教職員、教職員同士も「仲間」といえる関係が構築されれば、互いに力を合わせ、よりよい方向に向かっていこうとする力となるのではないのでしょうか。

学校のように何らかの目的をもって人が集まっている場では、自然と仲間が作られていく側面があるでしょう。しかし、「友達」という関係性の中にも、「親友」と「友人」と称されるように関係性の強さは異なり、「仲間」であってもその関係性は均質ではありません。「仲間作り」という言葉があるように、仲間同士の関係性を強くしていこうとする能動的な部分がなければ、よりよい仲間は形成されていきません。学校の教育活動において、そういった側面を無視することなく、生徒が多くの関わりの中で様々な仲間を形成していくために、学校行事や生徒会活動といった特別活動が果たしてきた役割は大きいことを改めて感じています。

本校では今年度、道徳教育の推進を柱に、特別活動の充実に向けて1年間様々な見直しを行って参りました。今回の駅伝部の様子だけではなく、学校の様々な場で生徒同士が仲間となり、素敵な表情で活動している姿が多く見られるようになりました。現在、3年生を対象に面接を行っていますが、例年「中学校生活で思い出に残っていることは何ですか?」と問うと「スキー教室」と答える生徒が8割くらいいたのですが、今年はスキー教室以外にも、運動会、音楽発表会、修学旅行等様々な行事を答えます。「クラスがまとまって取り組んだことがいい思い出になりました。」と理由を答える生徒が多く、生徒同士の関係性が強まったことを実感しています。

次年度の計画を立てていく時期となりました。「仲間」ということを一つのキーワードにしながら、今年度の成果を次年度さらに広げていきたいと思えます。令和7年も多くの場面でお力添えをいただきありがとうございました。良い年の瀬をお過ごしください。

学校生活の様子

歳末助け合い運動街頭募金 12/1

杉並区社会福祉協議会主催の街頭基金に生徒会が中心になって全校に呼びかけ、28名の生徒が参加しました。歳末助け合い運動で集められた基金は区内の地域福祉のために活用されます。生徒たちは寒い中、大きな声で募金を呼びかけ、59,096 円の募金が集まりました。



12月1日(月)JR荻窪駅 実施
歳末たすけあい運動街頭募金

59,096円

集まりました！
ご協力、ありがとうございました。

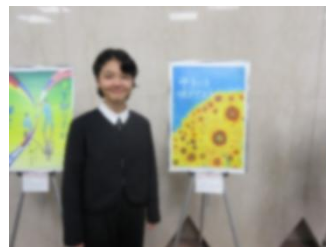


歳末たすけあい運動
は杉並区内の福祉活
動のために役立てら
れる募金です。

杉並区社会福祉協議会
地域支援課 連携推進係

校外での受賞の様子

夏季休業中に生徒たちが取り組んだ平和のためのポスターコンクール、税についての作文の授賞式が行われました。杉並区役所や荻窪税務署、東京都庁で行われた表彰式に受賞生徒たちは胸を張って参加し笑顔でそれぞれの賞を受賞しました。



生徒会 CS 委員懇談会 12/12

学校運営協議会（CS）の委員と生徒会の懇談会が行われました。学校運営協議会では天沼中学校の実態を知り、よりよくするための懇談会を生徒会だけでなく、PTAや教職員とも行っていきます。生徒会のメンバーは学校生活の様子やよりよい学校とするための要望をCS委員に伝え、自分たちの想いを語る機会となりました。



エコキャップ回収運動 12/19

生徒会が中心となってボランティアを募集しペットボトルキャップの回収を行いました。27名の生徒が参加して地域の回収ステーションを回り、大量のペットボトルキャップを集めてきました。これらのキャップは業者に回収を依頼し、ワクチン購入などの慈善事業に使われます。



第2学年校外学習発表会 12/22

10月に行われた第2学年校外学習の事後学習が終わり、学年で選ばれた代表生徒班による発表が1年生に向けて行われました。学習成果の発表だけでなく、アドバイス



やクイズも行い、スライドを用いて発表しました。

図書委員会によるお話会 12/22

図書委員によるお話会を昼休みに行いました。図書委員たちは自分たちで視聴覚室の飾りつけを行い、声かけをして当日はたくさんの生徒が話を聞きに来ました。今回のお話は「エルマーとサンタさん」です。これはイギリスで作られた「ぞうのエルマー」シリーズの一つで、風邪をひいてプレゼントが配れなくなってしまったサンタクロースに代わり、カラフルなぞうのエルマーが友達と協力しながらプレゼントを世界中の子どもたちに届けに行く、という物語です。お話をする側も聴く側も真剣に物語に向き合っている姿が印象的でした。



杉並区中学校駅伝大会2025

12月14日（日）、10月から取り組んできた駅伝部の練習成果をついに発揮する日が来ました。44名の駅伝部員たちはこれまで放課後や朝練習を通してこの日のために努力を続けてきました。

当日はあいにくの雨、気温も非常に低くコンディショニング的にはとても厳しい状況でしたが選手たちは実力を最大限に発揮しました。傘をさして大きな声で声援を送る生徒や保護者の方々、のぼりを作ってくれた美術部の応援を背に選手たちはタスキをつなげ、男女ともに11位という結果を残し、女子は昨年度のタイムを上回り、チャレンジ賞を受賞しました。



各区の走者	第1区	第2区	第3区	第4区	第5区
女子	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
男子	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■

応援をしてくださった皆様、本当にありがとうございました ♪ ♪

(敬称略)

生徒会サミット

12月17日(水)、杉並区の中学校12校から56名の生徒会役員が参加した生徒会サミットが天沼中学校で行われました。コロナ禍で行われなくなっていた中学校の生徒会サミットですが、昨年度から新たに発足し、今年は第2回目となります。各校の生徒会役員は生徒会活動で行った取組について発表し、付箋を使って学校の良いところや課題について話し合いを行いました。自分たちの学校をさらに良くするにはどうすればよいか、生徒たちは主体的に意見を出し合い、自分たちの活動を振り返りました。



杉並教育研究会 道徳部会の研究授業

杉並区の教育研究会は教員によって様々な教科・教科外の内容について研究会を行っています。特別活動部会では黒澤副校長先生が顧問を務め、生徒会サミットが開催されましたが、道徳部会の顧問は池田校長先生です。講師として東京都中学校道徳研究会顧問の森岡耕平先生をお招きし、1年間の研究の成果として研究授業として1年生の道徳の授業が行われました。区内の道徳部会の先生が授業を見学する中、1年A組では池田校長先生が自ら授業を行い、1年B組では松本舞先生、1年C組では鷺坂一矢先生が授業を行いました。研究主題は「主体的・対話的で深い学びのある授業づくり」。話し合い活動を軸に教材に向き合い、生徒たちは考えを深めていました。



第2学年のお楽しみ会!?

第2学年では23日の6時間目に学級委員主催のお楽しみ会を行いました。学級委員がみんなで楽しめるゲームやビンゴ大会などを企画し、今年最後のレク大会を楽しむのだと思いますや…

実はこの2学期で任期が終わり、退職される先生との「サプライズお別れ会」でした。手作りの企画は先生との思い出ビンゴや思い出スライドショーなど4月から一緒に学校生活を過ごしてきた先生と生徒たちの感謝の気持ちがたくさん詰まった素敵なお楽しみ会でした。



CS「生活と学び調査」
のご協力ありがとうございます。
まだ、お済み
でない方は12月25日
までにFormsにてお答
えください。